

新竹市培英ものづくり科学技術センターでの思い出

新竹市培英ものづくり科学技術センターではオリジナルのペンケースとキーホルダーを作りました。キーホルダーは2つ作りました。自分で好きな絵を描いてもらい間にペンケースを作る、どちらもとても難しかったです。なんの絵を描いていいか全く分からなかったし、ペンケースも布と布を縫い合わせる工程があったのですが、一度ぐちゃぐちゃになってしまい、



施設の方に直してもらいました。しかし、最終的には無事両方とも可愛く作ることに成功しました。キャラクターを描いている人もいたし、模様を描いている人もいて、とても楽しかったです。

101タワーから眺める台湾の街並み

101タワーとは台北市信義区にある超高層ビルのことです。名前の由来は地上101階建てとゆうところから来ていて、高さは509.2メートル、地下は5階まであります。私は89階の展望台でパディと一緒にソフトクリームを食べました。台湾の美しい街並みを眺めながら食べるソフトクリームはとても美味しかったです。



故宮博物館にあるお宝

故宮博物館には白菜や角煮の翡翠の他にも沢山の宝物があります。一つの石から作られた3つで一つの印鑑や同じ形の中に12枚も入っている実際に動かせる中国黄彫象牙半透明花人物球というものもあります。どれも作るには高度な技術が必要です。昔の台湾の方々がどれだけ繊細で素晴らしい技術を持っていたかがよくわかる代物でした。



新竹のお寺と日本のお寺の違い



右上の写真は新竹のお寺の写真です。日本とは異なりお寺のほとんどが赤く塗装されており、きらびやかな装飾があります。参拝の仕方も日本と異なり、まず手持ちの線香に火をつけ、入口の前の戸の前で神様に向かって名前、年齢、住所を心のなかで唱え、お祈りします。その後本堂に上がり同じ事をした後、お願い事をし、線香を供えます。この動きを戸の数だけ参拝するというものです。外は屋台が沢山あり、切り干し大根を包んだ餅や豆から作ったドリンクなどを食べました。そこにはお土産屋さんもあったので、獅子のキーホルダーを友達用に買いました。

Special

台湾で体験

4選

【氏福 晃花】



本物そっくり、白菜の翡翠

故宮博物館で有名なのは角煮の水晶と白菜の翡翠です。しかし、その2つは出張に行っていたようで私が見たのは2番目と3番目の白菜でした。思っていたよりも小さかったですが、その分とても繊細でした。白菜の上にはキリギリスやイナゴが乗っていてとてもきれいでした。キリギリスやイナゴは繁栄力が強く、子孫繁栄を象徴とするようです。この虫にしたのはその時の気分ではなく、全てに意味があると知って昔の人は作品の隅々まで意味を持たせてのだったと感心しました。



故宮博物館の外観

故宮博物館はとても広く、外壁の色は台湾の国旗の色と同じ色でできているそうです。外には中に通じる大きな扉があります。その扉が開くときの音がとても大きくて低く、迫力がすごかったです。中には蒋介石という台湾を統治した人の大きな石像がありました。蒋介石の向いている方は中国がある方向だそうです。

美味しかった台湾飯TOP3



第1位：春水堂の小籠包

一位は大魯閣滴雅広場、春水堂で食べられる小籠包です。柔らかい外側と中からあふれ出てくるジューシーな肉汁がたまりません。台湾では小籠包の食べ方があるらしく、小籠包の上の部分を箸でつまみ、スプーンに運ぶ。次に食べた時口の中をやけどしないように小籠包に穴をあけて中の肉汁を出し食べるという手順です。タレもただのタレではなく、刻みショウガが入ったタレでした。小籠包にも沢山種類があり、もちろん普通のものおいしいのですが、私は中が赤いキムチ小籠包が好きでした。ピリ辛で冷麺やうどんにあいそうな味をしています。食べた後は必ず舌が痛くなりますが、癖になってやめられません。

第2位：チョコバナナかき氷

第二位はXimendingで食べることができるチョコバナナかき氷です。このかき氷は驚くほどふわふわで、スプーンに触れただけで溶けだしてしまうほどです。上にはチョコアイス、横にはバナナが乗っていて、チョコソースもかけられています。味はTheチョコという味でバナナと一緒に食べたらチョコバナナのような味がしました。このお店にはこのかき氷以外にも沢山種類があって、アイスが3つ乗っているかき氷や、オレオかき氷などもありました。席数も多く沢山お客さんが入る仕様になっていたため、台湾に行ったときはぜひ食べてみてください。



第3位きくらげの酢の物

3位はきくらげの酢の物です！この酢の物は台湾で初めて食べましたが酸味が効いていてとても美味しかったです。最初は黒くて赤くて不思議な感じだったので、食べるを躊躇していたのですが、勇気を出して食べてみると思ったよりも酸っぱく私の好みの味でした。私はよく小籠包やお肉など脂っぽいものを食べた後に味変や気分転換で食べていたのですが、もしかしたら冷麺などのさっぱりしたものと一緒に食べるのも意外と合うかもしれません。日本ではあまり見かけないのでさみしいですが、きくらげにお酢をかけるお家でも作れそうな料理だと思うので今度両親にも振る舞ってあげようと思いました。



台湾の美味しい料理

このランキングの中になかったものも台湾には沢山美味しいものがあります。新竹や台北で有名なビーフンや夜市でよく出ているさつまいもロールなどです。特にさつまいもロールは周り梅パウダーをつけることもでき、外はカリカリ、中はもちもちでとても美味しいです。他にも、台湾の肉料理は香辛料がきいていることが多く、独特な味をするものもありますが、慣れればとても美味しく、日本では食べられないような味を体験できます。



台湾の見どころ



故宮博物院での新しい見方 台湾は、観光地だけではない 食の美

これは、翠玉白菜と言います。ここは、新竹市から少し 台湾のフルーツは、翡翠で彫られた白菜です。外れた海です。とっても美味しい。実は、この白菜の中に、夕焼けの綺麗な景色と、海に 果物が多く、キリギリスとイナゴが隠れていて、子孫繁栄や、多産が魅力であり、台湾の方々の リュウガンがイチオシを象徴する吉祥の意味が込められていて、新たな発見や驚きを感じました。そこには、一切プラスチック シャキシャキしたような台湾の芸術は、単に美しいなどのゴミは、無く、所々、な食感が特徴です。だけではなく、そこに土からカニが出てきたり、他にも、パパイヤや、込められた意味や願いをヤドカリが出てきたり、自然 スターフルーツ、知ることで、より深く理解の命が多く宿る海で、台湾は シュガーアップルができてと思いしました。観光地だけでなく、自然の、あります。実際に自分の目で見て、美しさもあり、その自然は、個人的にランキングをその繊細さや色合いにどこか神秘的な1面もあり写真 つけたら、感動しました。を撮るにしろ、海を楽しむに 1.リュウガンあと、この白菜はとてもしろ、観光地では、できない 2.シュガーアップルユニークな発想だと思いました。体験だなと思いました。 3.パパイヤました。そして、自分は、久しぶりの海 となります。白菜をメインの芸術なんてなので、すごく楽しかったです どれも美味しい果物そうそう思いつかないはず 字余りで書きますが、 ですが、自分の好みなのでそう思い、感動しました。日本のように、ミズクラゲが 的に、リュウガンがした。この経験から得た 潮に押されて陸に干上がって 好きでした。視点学校での学習など いるというようなことは、 あの味を思い出せるに、応用しようと思った。 無いそうです。 程に印象に残った。

台湾は、とても美しい国であった。

日本に比べて、不便な点は、いくつかあったが、そこまで不便では、なく
ひとつ例題を挙げれば、トイレに紙が流せないというのが不便でした。

慣れるにも少し時間がかかりました。

ですが！ 台湾には、美しい点がいくつもありました！

まず、観光面は、幻想的や、芸術的な場所が多く、ご飯も、味だけではなく、盛り付けも工夫されていて、食の美を体験できました。台湾の方々は、とってもユーモアのある、ユニークな方々でした。

台湾のすごさや、日本の住みやすさを体感出来ました。この経験を体験できたのも、岡山市や、両備の方々、ホームステイ先の人々のおかげです。これからの人生に、参考にします。

我的台湾新竹留学生活！

湯田坂 愛心

★新竹市について

新竹市は台湾の西北部にあり、冬季は季節風が非常に強いため、「風城」の異名があります。

新竹市は台湾のシリコンバレーと呼ばれています。最先端技術の街として知られていますが、歴史的な建造物や文化的な魅力を持っている市です。岡山からは飛行機で3時間と車で1時間の大体4時間で行くことができます。



★私が好きな台湾グルメ

小籠包 鼎泰豊（ディンタイフォン）というお店がとても有名
牛肉麵（ニューローメン） そうめんみたいな麺、牛肉メインのスープ
魯肉飯（ルーローハン） 肉が柔らかくてとても食べやすかった
タピオカミルクティー 日本よりも安くて大きい、そして甘い！！
※砂糖の量が選べるので、半糖がオススメ

★食文化の違いについて

私は台湾のお店で次々に大量の食べ物が乗っているお皿ができてとても驚きました。まだ食べきっていないお皿を次の料理が来たら下げてしまうことに驚きと日本との文化の違いを感じました。

私は海外派遣が終わってから台湾の食文化について調べました。台湾では、大皿に盛りつけられた料理を皆で取り分けて食べるスタイルが一般的です。食べ残すことについて気にしない文化があり、お店などで食べ残しをしてしまうことはお店の人に「お腹がいっぱいで満足しています。」というサインになるそうです。



★台湾の交通事情

台湾にはバイク文化があり、日本に比べてとてもバイクの量が多いです。信号機の前にはバイク専用のスペースがあります。

赤信号の時は専用信号機と歩行者用信号機のどちらにもあと何秒で信号が変わるか秒数が表示されていました。日本の信号機にもつけて欲しいと思いました。

駅やバス停は日本とほとんど変わらず、車両の形も同じでした。日本でいう在来線や新幹線もありました。台湾にも日本の Suica や PASMO のように、チャージして使う交通系 IC カード「悠遊カード」があります。

★私が台湾に行って驚いたこと

①家のドアが二重になっていること

台湾は比較的治安がいい国ですが、日本に比べるとそうでもなく防犯対策でドアが二重になっているそうです。また冷房効果を高める役割もあります。

②食事は家で作らないこと

私のホストファミリーの家では朝は買ってきたパンなどを食べ、昼と夜は外食がほとんどでした。台湾にはご飯を家で作るという文化があまりなく外食が主流なため、屋台が多いです。



★私が台湾で思い出に残っていること

ホストファミリーの親戚の家で習字を書いたこと

ガラス博物館でマドラーを作ったこと



★感想

私は今回初めて海外に行き、言葉の違いや食事文化の違いなど日本とは違う生活を体験することができました。違いを感じるとともに、日本との共通点を感じることもたくさんありました。大型商業施設には見慣れた日本の飲食店が入っていたり、コンビニエンスストアには日本のキャラクターくじがあったり、ホストファミリーの子と一緒にアニメの話題で盛り上がったりなど、日本の良さを感じることができました。

在新竹の留学生活让我学到了很多，也留下了很多美好的回忆。希望以后还能再来！

（新竹での留学生活でたくさん学び、たくさんの素敵な思い出を残すことができました。いつかまた来たいです！）

LOVE台湾新聞

岡山市立竜操中学校 2年 小寺 那果

私は、8月7日(木)から8月14日(木)までの7日間、岡山市子ども海外派遣で台湾の新竹市を訪れました。新竹市で、体験したことや学んだことを紹介します。

台湾ってどんなところ？



台湾は、岡山から約1620km離れたところにあります。面積は九州とほぼ同じです。また、人口は約2324万人で人口密度は日本の2倍です。台湾は、豊かな自然と文化の多様性を誇る魅力的な場所です。山々が連なる自然豊かな風景や、歴史ある寺院、美しい海岸線が訪れる人々を魅了します。台湾料理も多くの旅行者にとっての楽しみの一つで、夜市で味わえる屋台料理や、地元の特産品を使った料理は絶品です。また、台湾の人々は非常に親切で温かく、訪れる人々を歓迎してくれます。文化、自然、料理、そして人々との交流を通じて、台湾は一度訪れると忘れられない場所になります。



新竹市と岡山市

新竹市と岡山市は2001年に岡山市日台友好都市議員連盟によって新竹市政府および新竹市議会との友好交流に関する覚書が締結されました。その後、相互派遣で交流を深め2003年に友好交流協定が結ばれました。

両市の交流は岡山市議会の先導や市民の間で活発に行われています。学校間の姉妹校交流や市民訪問団、職員や中高生の相互派遣の他に経済・文化・スポーツ交流など幅広い分野でも交流しています。この交流は、両市の市民にとって貴重な国際的な絆を育む機会となっています。新竹市と岡山市の友好関係は、相互理解と文化の共有を促進し、地域社会の発展にも寄与しています。また、特に若い世代が国際的な視野を広げることができる場を提供し、未来のリーダーを育成する一助となっています。

派遣中の出来事

電車の中で

私が台湾へ訪れて驚いたことは電車の切符がプラスチックのコインだったことです。このコインはトークンという名前があり、電車に乗る前は改札にタッチし、電車に乗ったあとは改札にコインを入れるところがあるのでそこにコインを入れるという使い方と日本の切符と使い方は同じだなと思いました。



台湾の絶景

私が思う台湾の絶景は、ホストファミリーと行った台北101からの景色です。なぜなら、私がホストファミリーとその展望台で仲良くなったからです。台北101の展望台には、ドラえもんといっしょに写真が撮れる場所やいちご飴を売っているお店などもあります。また、天気がよかったら91階の屋外展望台からの景色が見れます。台湾に行ったらぜひ行ってみてください。



おすすめの食べ物

私が台湾で食べた美味しいご飯の中から特にオススメのものを紹介します。まずは、小籠包です。薄い皮の中に熱々のスープと餡がはいっていてが入っていてとても美味しいです。また焼売も日本のものと味がぜんぜん違って本当に美味しいです。小籠包と焼売のオススメのお店は、鼎泰豊です。ぜひ行ってみてください。ほかにも、マンゴーかき氷やタピオカドリンク、パイナップルケーキなど美味しいものだらけでした。



ビーフンづくり体験

今回の派遣で新竹市の名物ビーフンをホストファミリーたちと作りに行きました。なぜ、新竹市がビーフンで有名かと言うと新竹市は風が強くビーフンを乾燥させるのにちょうどいいからです。強い風でしっかり乾燥させたビーフンはコシがあり独特の風味と食感があります。日本に帰って来て、日本のビーフンと食べ比べをしましたが、やっぱり味がぜんぜん違って新竹ビーフンの方が私は好きです。



最後に

この派遣を通して世界は狭いようで広いということがわかりました。私は、もっとこのおもしろい世界について知り、見て、考え、世界に通用する人になりたいと思いました。最後になりましたが、この派遣を企画してくださった皆さん、私を受け入れてくれたホストファミリーの皆さん、ガイドの方、本当にありがとうございました。

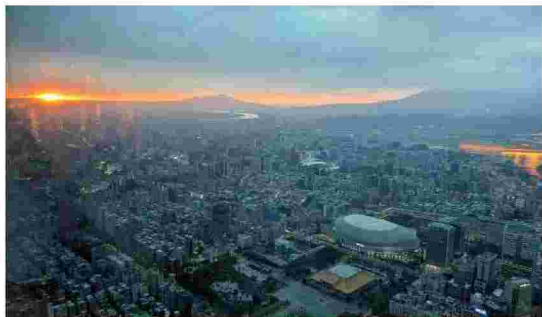


台湾 TAIWAN

新竹市訪問

2025 年 8 月 7 日 (木) ~8 月 14 日 (木)

岡山市立高松中学校 水川珠希



「台北 101 展望台」からの台北の夜景。

台湾の白菜と肉形石 in 国立故宮博物院

中国歴代王朝の至宝が約 70 万点所蔵されています。もともと紫禁城にあったコレクションが内戦を避けて、国民党政府とともに台湾に移送され、博物館が開館しました。

【白菜・肉形石】

私がこの博物館に行ったとき白菜は海外に出張中だったので見ることはできなかったのですが、肉形石は間近で見ることができました。本物に近くて再現度がとても高いと感じました。

白菜は写真や資料が展示しており、翡翠の色を活かして白菜のグラデーションを表現していたり、葉っぱの部分も細かく再現してあると聞きました。肉形石は、石だとは思えないほどの質感やつやで、実物の肉と見分けがつかないほどでした。

翡翠の美術品はほかにもたくさんあって、昔の人が見に着けていたアクセサリーなども展示しており、とてもきらびやかな雰囲気でした。いろいろな色の飾りもあって昔の技術はすごいと再確認しました。



【碧玉屏風】

白菜や肉形石以外に興味を持った美術品は、「碧玉屏風」というもので

す。中華民国時代の作品で、四十八枚の翡翠でできていてとても豪華でした。緑色の翡翠が反射して透けて見えて綺麗で、かつては昭和天皇の手にもあったそうです。



【象牙(彫象牙透花雲龍紋套球)】

「象牙(彫象牙透花雲龍紋套球)」も一本の象牙から作られていて、現代ではこのようなものを再現できる技術者はいないといわれるほど精密なつくりからできていた美術品だそうです。

実際見たときその細かさに驚きました。球体の内部は二十三層になっている、どの層も回転できるそうです。この象牙の装飾は主に龍を扱っていて小さい龍が台座や球体に彫り込まれています。

【玳瑁嵌珠寶花弁指甲套】

清の時代では、上流階級の女性の大多数が爪を伸ばして、それを保護する役割を持つのが「指甲套」でした。「指甲套」は玳瑁を彫刻して作ったもので光沢があり、真珠や点翠はめ込んだり、装飾は主に龍を扱っていて小さい龍が台座や球体に彫り込まれています。綺麗で豪華な装飾がつけられています。

昔の女性も今と一緒にオシャレやファッションを楽しんでいたんだと感じました。

台湾の料理やスイーツ

ホストファミリーとは外出して食べることが多く、店内で食べたりテイクアウトして家に帰って食べたりしました。

台湾では、「小籠包」や「珍珠奶茶」(タピオカミルクティー)などでも有名な料理やスイーツを食べることができ、うれしかったです。

現地の方から聞きましたが、台湾では植民地時代に日本の料理の味付けに影響を受けて、日本風になった料理もあるそうです。私が食べたスープ類も優しい味で、たくさん食べることができました。スープに入っている肉の団子は日本のものと比べて弾力があり、もちもちしていてとてもおいしかったです。珍珠奶茶も何度が飲みましたが、ものによって若干タピオカパールの味が違うので、それも含めて楽しむことができました。日本でいう大判焼きにもタピオカが入っていて驚いたし、お土産などにもタピオカ大福があって、新鮮でした。



【小籠包】

小籠包を食べるのは初だったので、現地の方やお店の方に食べ方を教えていただきました。



そのまま食べてしまいたくなりますが、包みのなかのスープはとても熱いので注意が必要です。

1. レンゲの上に小籠包の先端を持つてのせませす。
2. 箸で小籠包の皮を破くとスープが出てくるので、スープを飲んでから小籠包を食べます。
3. レンゲに小籠包をのせる際、皮が破けないように気を付けるのがポイント。
4. 小籠包のタレは個人的好みで作ることがありますが、黒酢と醤油で割って刻み生姜につけて食べることがほとんど。黒酢と醤油の割合が3:1になるように混ぜ合わせるのがおすすめです。



台湾の建築物

【台北 101 展望台】

台湾で最も高い建物に、ホストファミリーといっしょに行きました。101 階建て高さ 509m で、完成した 2004 年では世界一の高さを誇っていました。設計を手掛けたのは、台湾で有名な李祖原さん。ガラス張りの現代建築で外観は台湾の伝統的な宝塔や竹の節をイメージして、デザインされているそうです。27 階から 90 階にかけて縁起の良い数字とされている「8」にちなんで8階ごとに区切られた節が縦に並んだ設計になっています。89 階では展望室があり、台北市内を一望できてとても楽しかったです。私は夕方に行ったので夕日を見ることができたのですが、写真を撮る人が多くガラス近くには人だかりができていました。動画を撮っている人もいて、日が沈むまでの記録をとっている観光客の方もいました。

【中正紀念堂】

中華民国の初代總統・蒋介石の功績をたたえて建設された建物です。この紀念堂の中正という名は、蒋介石の本名である中正からつけられました。

25 万 m²の敷地の大型公園で、中国式庭園や植物園などもあります。白の壁に八角形の青い屋根が特徴的な中国伝統建築になっています。この建物の室内には蒋介石像が安置されています。そして、蒋介石の生涯や台湾の民主発展に関する資料なども展示してありました。蒋介石の銅像は、總統府および中国の方向である西に向かって設けられていて、特別な意味が感じられます。

台湾の民主化が進んで思想が自由な現在では、広場は民主運動の集会場によく用いられるそうです。ここでは衛兵交代式が見もので、毎日 9 時から 17 時の一時間毎の正時に行われます。私も朝見することができました。

台湾のお土産

【パイナップルケーキ】

台湾の定番のお土産で、各地の専門店では販売されています。パイナップル・小麦粉・鶏卵・バター・牛乳などを使って作られています。外はサクサクしていて中にはパイナップルの餡が入っており、弾力感があり、おいしいです。パイナップルの甘みと酸味が絶妙なバランスです。暑い国のお菓子なので日持ちするように作られていて、賞味期限は 1~3 か月ほどでお土産にも最適です。いろんな会社やブランドのパイナップルケーキを食べました。味は全然違うので、食べ比べてみて自分の好みを探すのもおすすめです。台湾に行く機会があれば、ぜひ買ってみてください。

【台湾茶】

台湾で生産されているお茶で、高品質な烏龍茶の産地として世界的に有名です。私も実際に飲んでみましたが、とても美味しかったです。中国から伝来しましたが、地理や気候の違いから独自の発展を遂げ、凍頂烏龍茶、東方美人茶、文山包種茶、高山茶などさまざまな茶の種類があり、お土産におすすめです。



●家族へのおみやげは、台湾茶とパイナップルケーキと博物館グッズなど。いろいろスイーツケースに詰め込みました

訪問を終えて

初めての海外でとても緊張していた、言葉が分からない中で現地の方とうまくコミュニケーションが図れるか、とても不安でした。でも、ホストファミリーの方をはじめ台湾の方たちにとっても親切にしてもらい、日本語が話せるお年寄りの方とお話する機会などもあって、とても貴重な時間を過ごすことができました。

私が楽しみにしていたのは、台湾の食や美術などいろいろな文化に触れることでした。台湾の料理は初めてで、味わったことない味で新鮮でした。また、場所によって有名な食べ物も特産品も違っているので、いろいろな場所を訪れるたびに新しい食べ物に出会えて、とても楽しかったです。台湾のフルーツはとてもおいしくて、たくさん食べることができました。日本ではフルーツが高いけど、台湾ではとても安く買えるので、おすすめです。またホストファミリーに教えてもらいました。台湾は気候のこともあってフルーツを育てやすく、スイーツなどにもフルーツが使われていることも多かったです。

小籠包や豆花はよく聞く代表的な料理ですが、今まで食べたことがなくて、初めて口にしたとき本当においしくて、日本に帰った後も食べたくなりました。小籠包の食べ方は現地の方やホストファミリーに教えてもらい、しっかり覚えることができました。ほかにも新竹市の伝統料理や特産品のビーフンを作ったり、いろいろな体験をすることができ、とても勉強になりました。博物館では、日本では見ることのない美術品ばかりでした。私が特に気に入ったのは「碧玉屏風」で、昔は昭和天皇が持っていたとされているとてもきれいな翡翠の作品でした。ほかにも翡翠が使用された髪飾りや道具などがあり、とても興味深かったです。

この「岡山市海外派遣事業」で台湾の新竹市を訪れ、ホストファミリーと過ごしながら体験したことや学んだことを、これからの自分の進路や将来に生かしていきたいと思っています。

また台湾に行きます！ 再見！

我的最美好的回憶 in 台灣

馬場千智

景色の違い

皆さんは台湾の景色というと、どんな色を想像しますか？私は台湾に行くまでそんなこと全く考えていませんでした。私はある事に気づいてしまいました。日本から台湾に行っているとき日本の景色は上空から見ると、緑色や屋根の色の青色の印象を受けました。しかし、台湾の景色を上空から見ると、茶色やオリーブグリーンのような印象を受けました。台湾は私の印象だと建物は茶色が多いイメージがあって、自然の色はオリーブグリーンのような深い色の木が多い感じがしました。



文化の違い

1) バイク

なぜみんなバイクに乗る文化があるのか？ホストファミリーに聞いたところ、昔から台湾はとても車の直段が高いので、今でも車よりバイクを使う人の方が多いのだそうです。

2) 肉

皆さんは台湾の食べ物というとどんなものをお願い浮かべますか？ルーローハン？臭豆腐？やっぱり台湾料理と言えば肉料理がいっぱいある印象ですね。実際行ってみても予想通りで、ものすごく肉料理が多かったです。鶏の指を食べたりルーローハンを食べたりしました。鶏の指は、爪も一緒に料理され、骨もあったのでほとんど身を食べてるというよりは、骨や爪の方が量が多い印象です。ですが、とてもおいしくって味付けも日本人も食べやすいようになっています。



3) 外食文化

台湾が外食文化だということを皆さんご存じでしたか？台湾では、キッチンなし物件の多さや共働き世帯の増加もあって、朝から夜までレストランや夜市に行ったりして食事をとります。何故外食をするのでしょうか？主に2つの理由があります。1つ目は、食費が安い事です。台湾では自炊よりも外食の方が安価であるため、外食をする人が多いです。2つめは共働き世帯の増加です。台湾では共働きが一般的で、家で食事を準備する時間がないため外食が効率的だと考えられています。



4) 入浴

台湾のお風呂習慣を知っていますか？台湾は、お風呂ではなく、シャワーを浴びる習慣になっています。2015年のデータによると、シャワーを浴びるが湯船にはつかない人が86.5%、湯船につかるという人は4.6%だったそうです。その理由は、もしかしたら建物の構造にあるのかもしれませんが、そもそも台湾のアパートやマンションには、浴槽がついてないことがほとんどだそうです。ではもし湯船につかりたいときはどうするのでしょうか。お風呂に入って疲れを取ったり、癒されたい人は、温泉やスパに行くのだそうです。わたしのホストファミリーの

家では、大きな釜にお湯を入れて湯船につかるそうです。また、ホストファミリーの家では、湯船につかるのはホテルに行った時だけなんだそうです。

台湾の気候

台湾は年間を通して高温でさらに湿度がすごいです。つまり、高温多湿な亜熱帯・熱帯気候に属しています。特に夏は長く、冬は短いです。地域によって違いますが、北部は冬に冷え込み、南部は年間を通して温暖ですが、梅雨や台風シーズンがあり、雨が多いのが特徴です。

季節ごとの気候

- 春 梅雨前線が影響し、雨が長引く事がある
- 夏 高温多湿で蒸し暑く、日差しが強い時期。時々起きる台風には注意が必要
- 秋 過ごしやすい気候で、日中にはまだ暑さが残っていることがある。だが、晴れた日が多くなる。
- 冬 短く温暖だが、北部を中心に冷え込む日がある。寒波が来ると、高山で雪が見える日もある。

服装のポイント

- 年間を通して、軽めの上着や羽織る者があった方がいい
- 蚊などに刺されないようにズボンは長めで、暑くても、薄い羽織るものがあった方がいいです。
- 雨具や防水の靴を持って行った方が、旅行するにはお勧めです

感想

初めての海外研修でした。去年は、ホストファミリーとして中国から留学生を受け入れました。この国際交流活動は将来の道しるべになると思います。

台湾の景色

【岸 環汰】

自分にとって初めての海外。それは死んでも忘れない一生の思い出となりました！そんな思い出を今から書いていきます！

1,目に映る景色は



2,台湾の夜市



3,台湾で迎えた13歳

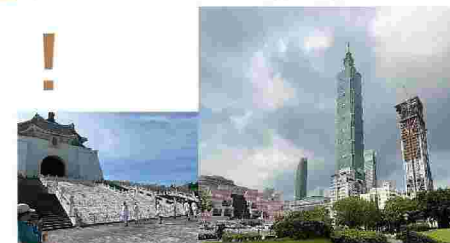


ホームステイのファミリーは僕にたくさんの場所へ連れて行ってくれました。その中でも記憶に残っているのは九份というところ。そこはとても人気な観光地で、台湾の観光地の代表格のようところで、映画である「千と千尋の神隠し」の舞台にもなったところ。そして、なぜ、印象に残っているかというと、四歳くらいの頃に読んだ世界の国の本で台湾の国紹介の時にこの九份の写真があったからで、「世界にはこんなところがあるのか！」「いつかこんなところに行ってみたいなあ！」と子供の頃から思っていて、ついにこの願いが叶いとても感動しました。目に映る景色は、写真とは違い迫力があり感動しました。

僕は二箇所の夜市にいきました。一つ目に中壢観光夜市に行きました。二つ目に饒河街観光夜市に行きました。二つの夜市夜ご飯を食べました。特に夜市で印象に残っている食べ物は、臭豆腐です。名の通り、とにかく臭い。本っ当に臭いです。実際に食べてみて、味こそは大丈夫でしたが、匂いがきつかったです！ファミリーのお父さんは、好んで食べており、世界は広いんだなと実感しました。そして日本では食べないような動物の体の部位などを食べてきました。そして地面にはゴキブリも。良くも悪くも「すごいなあ」と思いました。すごくローカルな感じで、今思えば日本と比べれば文化や風習も大違いだと思ひ。自分の価値観がすごく変わったと体感しています。そしてミニゲームなども充実していて、日本の屋台とはまた違ったゲームでとても刺激的でした。

僕の誕生日は8月10日です！そしてその8月10日は台湾のホームステイ中にありましたつまり僕の誕生日は台湾で迎えることになります。そして当日、ファミリーで飲食店にいきご飯を食べた後、家で、ケーキを食べました！プレゼントには、オーダーメイドのギターのピックや、手紙など。自分の大切な宝物となりました！今までは、家族としか誕生日を過ごしていなかったのですが、最高の誕生日となりました。台湾も、日本と同じようなケーキで、すごく感動しました。自分と全く言語も違う環境で誕生日パーティーをするのは新感覚で、すごく楽しかったです。祝ったりすることは世界共通で、その気持ちは言語を超えるのだと気づきました。そしてそのように祝われることは幸せなんだと体感しました

日本と台湾を比べて気づいたこと！！



一つ一つの生活を比べて

まず生活面からの話ですが、トイレトペーパーが流せないことですかね。このようなことは小さい様に見えますけれどすごく大きな違いです。そして水道水がそのまま飲めないこと(硬水であること)などですかね。他にも台湾の街並みなどが日本とは全く違って新鮮でした。都市と住宅街が分離していて、一戸建てなどの家を全くみませんでした。これらは日本では確実に見れないことでみれてよかったと思います。

そこから考えたこと

生活面からについては、日本の技術の高さを感じましたし、日本はすごく豊かな国なんだなと、強く感じました。街並みでは、私は一戸建てに住んでいますが、住宅街の様なまとまりになっている様な家も、個性があっていいなと思いました

まとめ

一言で言えば、日本はすごい！！ということです。この様な違いに気付けたからこそ、日本にいる感謝もありますし、この様な経験をさせてくれた岡山市や両備の方にも感謝したいです！このホームステイの経験は一生忘れません！！

台湾 新竹市レポート

発行者
渡辺未来

新竹は台湾の北西に位置していて、人口は約45万人です。
岡山と姉妹都市縁組を結んで22周年になります。

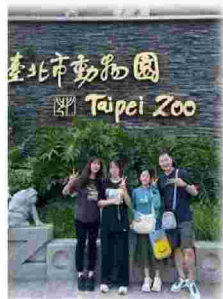
食べ物



食事は基本的に朝はパン、昼と夜は外でとりました。

台湾の公共交通機関は飲食が固く禁止されていると聞いていたのですが、実際はホストファミリーにうながされ、一緒に電車やバスで、朝食をとりました。本で知ると、実際に経験してみるのとは違うということがわかりました。台湾に来る前に本で文化などをもっと調べて、本と違うところを見つけるのも面白かったかなーと思っています。

初めての経験 in 台湾！



ホストファミリーにいろいろなところに行かせてもらいましたが一番印象に残っているのは動物園です。台湾の動物園には昆虫館や爬虫類館なども一緒にあって、たくさん動物が一度に見れて最高でした。昆虫館では蝶のための温室の様な部屋がありそこで蝶が優雅に飛んでいて、左上の写真は私の帽子に蝶がとまっていたところをホストファミリーがとってくれました。

観光



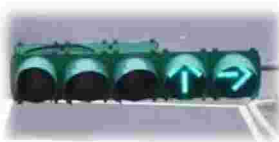
また、私が台湾で食べたいと、考えていたマンゴーかき氷は人の顔くらい大きさがありました。そこで驚いたのは、マンゴーの量です。上にのっているマンゴーと同じくらい、かき氷の中にもマンゴーが入っていました。その理由を考えてみたところ日本は果物が台湾に比べ育ちにくく高価だが、台湾は果物が育ちやすく安価なため多く使えるのではないかという結論に至りました。

移動

台湾の人は車やバイクを使って移動していました、その中でも驚いたのがバイクの量と乗り方です。あまり鉄道の普及していない台湾ではバイクの需要が高いため、使っている人が多いのですが、乗り方もさまざまで二人乗りや中には三人乗りをしている人もいました。

道路の信号は日本と違って右に曲がる人だけの矢印の信号が下ではなく、横に連なっているためとても長かったです。

また、横断報道の信号は赤になるまであと何秒か表示されていて画期的だと思いました。日本の似たような信号はありますがこっちはほうが安全なのではないかと思いました。



生活

台湾は日本と違い軟水ではなく硬水なので水道水が飲めず、水がなくなるとときに水を買わないといけないのが日本と違って大変でした。値段は日本より少し高かったです。誤って硬水を少し飲んでしまった時があったのですが、少量だったためか体に影響はありませんでした。

ホームステイ一日目だった動物園は必要なものがわからずいろいろバッグ詰め込んでいたら、とても重くなってしまったので貴重品と水筒を持っていくぐらいでよかったなと思っています。でも、重いから両足をもっていかなかった日に限ってスコールが降ってきたりしたので、小さなカップバはあったほうがいいなと思いました。

まとめ



今回の海外派遣で私は言葉が通じない人との意思疎通のはかりかたや異文化への飛び込み方を学びました。海外での貴重な経験は今後の自分の成長につながると思います。最後に海外派遣の説明や引率をしてくださった先生方、そして、現地で温かく迎えてくださったホストファミリー、本当にありがとうございました。また会える日を楽しみにし、日々邁進し続けたいです。